

本科 2 期 12 月度

解答

Z会東大進学教室

## 高 2 東大地理



# 11章 人種・民族・国家

## 問題

### 解答

【1】 ①

【2】 (1)−④ (2)−②

【3】 (1)−① (2)−②

【4】 問1−B 問2−A 問3−D 問4−B 問5−A 問6−D  
問7−C 問8−A 問9−B 問10−D

### 解説

#### 【1】

正解は①。

イスラームは西アジア～北アフリカの乾燥地域に広まり、交易や征服によって、中央・南アジアや東南アジアのインドネシア・マレーシアなどに拡大したことから、アジアやアフリカに信者が多い（ア）。キリスト教はヨーロッパに広まった後、植民地支配や宣教師の活動により世界各地に伝播した。中央・南アメリカには旧宗主国の影響でカトリックが多い（イ）。プロテstantは16世紀の宗教改革でカトリックから分裂したことから信者の総数が少なく、イギリスによる植民地支配が行われた北アメリカに信者が多い（ウ）。

#### 【2】

(1). 正解は④。

カナダのケベック州では、「カナディアン」と称する人々を除くと、フランス系住民が多くを占める。そのため、イギリス系が中心の連邦政府からの分離独立運動が見られる。

①. イギリスの北アイルランドでは、東方正教徒ではなく少数派のカトリック信者と多数派のプロテstant信者の対立がある。

②. 旧ソ連地域では、連邦解体後も、ロシアのチェチェン共和国やジョージア（2015年にグルジアから呼称変更）などで民族問題が発生している。

③. ブラジルでは、国民の大半はポルトガル語を使用している。

(2). 正解は②。

ドイツには約390万人の外国人労働者がおり（2008年）、EU内では最もその数が多い。そのうち約85万人はトルコ出身である。以下、イタリア・ギリシャなどの南ヨーロッパ出身者が多いため②が該当する。①は旧植民地からの流入が多いフランス、④は北ヨーロッパ地域からの流入多いため、スウェーデン、③は地理的に近いモロッコや旧スペイン領で現在もスペイン語圏であるエクアドルとコロンビアからの流入多いため、スペインである。

### 【3】

(1). 正解①

Aは、北のルーマニアと南のブルガリアを分けるドナウ川を示したものである。ドナウ川下流部は、ルーマニアとブルガリアの自然国境になっている。

Bは、北のロシアと南のジョージアを分けるカフカス山脈である。

Cは、北西のシリアと南東のイラク・ヨルダンを分ける人為的国境である。乾燥地帯では自然的国境として用いる河川などがないため、緯線や経線が国境として用いられる場合がある。また、Cのように、斜めに直線状に国境線が引かれる例もある。

(2). 正解②

クルド人は、イラン・イラク・シリア・トルコ・アゼルバイジャン・アルメニアにまたがる地域に居住しており、各国で自治や独立などを求めている。1991年の湾岸戦争終結後、イラクから多数のクルド人難民が生じた。

### 【4】

問1. 世界中に離散していたユダヤ人の間では、ヨーロッパにおけるユダヤ人に対する差別や虐殺などを背景に、出自の地であるエルサレムを中心とするパレスチナ地域に民族国家の建設を求めるシオニズム（祖国復帰）が台頭した。1917年にイギリスがバルフォア宣言によってユダヤ人の民族国家建設を容認する態度を示したことを契機として、パレスチナへのユダヤ人の移住が増加し、1948年にイスラエルが建国された。この過程で、この地に居住していたアラブ人（パレスチナ人）が居住地を奪われ難民化し、今日まで続く中東紛争が引き起こされることになった。

問2. クルド人は、トルコ東部、イラク北部、イラン西部といった中東諸国の国境地帯に広がるクルディスタンと呼ばれる地域に居住する、独自の国家を持たない世界最大の民族集団として知られている。中東では、アラブ人、トルコ人、ペルシャ（イラン）人に次いで人口数が多い民族集団である。

問3. カシミール地方は、インド、パキスタン、中国の国境付近に位置するカラコルム山脈中の山岳地帯である。南アジアがイギリスによる植民地支配から独立する際に、ヒンドゥー教徒が多数派であるインドとイスラム教を国教とするパキスタンに分裂した。しかし、藩王がヒンドゥー教徒である一方、住民の約80%はイスラム教徒であったカシミール藩王国の領有を巡って、インドとパキスタンの間で領有争いが生じ、カシミール紛争が引き起こされることになった。インド、パキスタン両国は、第一次印パ戦争、第二次印パ戦争、第三次印パ戦争、カルギル紛争と言うように、大小の軍事衝突を繰り返している。

問4. ユーゴスラビアから独立したボスニア・ヘルツェゴビナでは、1992～1995年にボスニア・ヘルツェゴビナ紛争と呼ばれる内戦が生じた。ユーゴスラビア解体の動きのなかで、1992年に独立を宣言したボスニア・ヘルツェゴビナは、当時の住民の33%を占めたセルビア人、17%を占めたクロアチア人、44%を占めたムスリム人（イスラム教徒）の間で利害対立が生じたことを背景としてセルビア人が分離をめざした結果、内戦が誘発されたのである。国土全域で3民族間の戦闘が繰り広げられた結果、大量の死者、難民・避難民が発生し、第二次世界大戦後の欧洲最悪の紛争となった。

問5・問6. バルカン半島中部の内陸部に位置し、北東をセルビア、南東をマケドニア、南西をアルバニア、北西をモンテネグロに囲まれているコソボは、かつてセルビアに属する自治州のひとつであった。しかし、住民の多くがアルバニア人であったため分離・独立の要求が高揚し、セルビアとの間で紛争が生じた。この結果、国連やEUがセルビアとコソボの調停活動を行うことになったが、1999年3月からは国際世論を受けてNATO（北大西洋条約機構）軍がセルビアに対する大規模な空爆を実施することとなった。この結果、セルビアはコソボからの撤退を開始し、コソボはセルビアの実効支配から完全に脱却することになり、2008年、コソボ共和国として独立した。

問7. チェチェン共和国は、黒海とカスピ海に挟まれたカフカス山脈の北麓に位置している四国と同程度の面積をもつ地域で、ロシアを構成する連邦構成主体のひとつである。しかし、旧ソ連解体後、ロシアへの残留を主張する勢力と独立を求める武装勢力との間で対立が続き、2度のチェチェン紛争と独立派による頻発するテロが引き起こされている。

問8. 中央アジアに位置するキルギスは、カザフスタン、中国、タジキスタン、ウズベキスタンと国境を接している。中国との国境にはテンシャン山脈、タジキスタンとの国境にはパミール高原が位置しており、国土の約40%が海拔高度3000mを超える山岳国となっている。

問9. アゼルバイジャンの国土の西部の山岳地帯に位置するナゴルノ・カラバフ自治州には、アルメニア人が多く居住している。このため、アルメニア人が旧ソ連崩壊直前からアルメニアへの帰属を求め、アゼルバイジャンとの間にナゴルノ・カラバフ紛争が誘発された。アゼルバイジャンがトルコと友好関係にあり、イスラム教のシーア派を信仰する人々が優勢である一方、アルメニアはトルコとの関係が悪く、ロシアと強固な関係を有しているうえ、キリスト教を信仰する人々が優勢である。このような民族・宗教・社会の違いも背景となって、この紛争は泥沼化し、現在、ナゴルノ・カラバフはアルメニア人の占領状態に事实上置かれている。

問10. 難民条約（正式名称は「難民の地位に関する条約」）は、1951年に「難民および無国籍者の地位に関する国連全権委員会議」で難民の人権保障と難民問題解決のための国際協力を効果的に行う目的で採択された国際条約である。

## 12章 交通・通信

### 問題

### 解答

- 【1】 ②
- 【2】 (1) ③ (2) ②
- 【3】 問1－イ 問2－ア・エ・キ 問3－カ 問4 インド－キ ドイツ－イ  
問5－オ 問6－カ 問7－イ・オ
- 【4】 問1. A－4 B－2 C－1  
問2. ①－時間 ②－大型 ③－付加 ④－ハブ ⑤－中継 ⑥－原油  
⑦－パナマ ⑧－便宜置籍 ⑨－半導体 (IC) ⑩－成田  
問3. D－シンガポール E－プサン
- 【5】 設問1 ア－ハブ イ－仁川 ウ－香港 エ－パイプライン  
オ－インターネット カ－GPS (全地球測位システム)  
設問2 a－5 b－3 c－1 d－12  
設問3 (1) アメリカ合衆国 (2) インド (3) ミャンマー

### 解説

#### 【1】

正解は②。

いずれも ASEAN 4 と呼ばれる4カ国だが、マレーシア・タイは他の2カ国より経済発展が著しく、1人当たりGDPも高い。タイは稻作を中心とする農業が盛んであるため、都市人口率が低く、農村人口率が高いことから、②に該当する。よって、①はマレーシアである。④は比較的早くから工業化が進められたインドネシア、残る③はフィリピンに該当する。

#### 【2】

(1). 正解は③。

まず、表中の数値が実数なのか単位当たりなのかに注目する。千人当たりの電話回線数、携帯・自動車電話契約数の数値が最も小さい①が、4カ国の中で最も経済水準の低いタイである。パソコン保有台数は実数であり、台数が最も多い④が、4カ国の中で人口が最も多くパソコンの普及率も高いアメリカ合衆国となる。残る韓国とシンガポールでは、シンガポールの方が人口が少ないため、②が韓国、③がシンガポールとなる。

(2). 正解は②。

①. 日本、インド、オーストラリアなど、アメリカ合衆国から遠く離れた国・地域でも早期からインターネットが普及している。

③. 1991年9月時点でのインターネットに接続されていた国の中で、タイやインドではローマ字が主な文字表記に使用されてはいない。

④. 1997年6月15日時点で、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマーにはインターネットが接続していない。

### 【3】

問1. 4カ国の中では、島嶼国である日本において水運による旅客輸送が最も活発に行われている一方、パイプラインを利用した貨物輸送は不活発である。よって、アが日本。広大な国土を有するアメリカ合衆国では、航空による旅客輸送が最も活発に行われている。よって、イがアメリカ合衆国。ウとエを比較すると、航空による旅客輸送・貨物輸送はエの方が活発、水運による貨物輸送はウの方が活発である。よって、ウが島嶼国であるイギリス、エがイギリス(24.3万km<sup>2</sup>)よりも国土面積の大きいドイツ(35.7万km<sup>2</sup>)。

問2. 日本では、船舶の運用コストの低減を図るため、低賃金な外国人船員の割合の引き上げが行われているので、イは誤り。また、パナマやリベリアは、税金を低く抑えたり、船員に関する国籍条件などの規制を緩和することで、船主の所在国とは異なる国に船籍を置く便宜置籍船を誘致する政策によって外貨獲得を行っているので、ウも誤り。アジアとヨーロッパを結ぶオイルロードの中心は、エズ運河を経由したり、直接地中海東岸に位置する積出港へ至るパイプラインを利用して、オも誤り。大型専用船は、石油・LNG(液化天然ガス)・自動車・コンテナなどの輸送に用いられ、梱包されていない穀物・鉱石・セメントなどはバルクキャリアと呼ばれるばら積み貨物船で、船倉に収納して輸送される。よって、カも誤り。

問3. 貨物輸送量の多いア～エが大国のアメリカ合衆国、カナダ、中国、ロシアの何れかで、少ないオ・カがドイツ、日本の何れかである。ア～エの中で、鉄道による旅客輸送量が少ないア・エは、航空交通の発達したアメリカ合衆国とカナダの何れかとなるが、鉄道による旅客輸送量・貨物輸送量がともにより少ないエが人口の少ないカナダであり、アがアメリカ合衆国である。また、イ・ウは中国とロシアの何れかとなるが、鉄道による旅客輸送量が非常に多いウが人口の多い中国であり、イがロシアである。オ・カは、鉄道による旅客輸送量が桁違いに多いカが鉄道網の発達が目覚ましい日本であり、オがドイツである。

問4. 乗用車1台当たりの人口が小さい値を示すア・イ・エは、日本のようにモータリゼーションの進展しているアメリカ合衆国、スペイン、ドイツといった先進諸国である。このなかで、自動車(乗用車+商業車)保有台数が多い順に、アが最も人口の多いアメリカ合衆国、イが次いで人口の多いドイツ、エが最も少ないスペインである。逆に、乗用車1台当たりの人口が大きい値を示すキは、モータリゼーションが遅れているインドである。ウ・オ・カは、韓国、ブラジル、ロシアの何れかであるが、このなかで乗用車1台当たりの人口が最も小さい値を示すカが、モータリゼーションの進展が顕著で、近年自動車の生産台数・輸出台数の両者が急増している韓国である。残るウがロシア、オがブラジルである。

問5. 航空交通は、莫大な資本の投下と高度な技術が要求され、運航コストが高い。このため、発展途上諸国での発達は遅れている。よって、オが誤り。

問6. コンテナは、規格化されているので、船・鉄道・トレーラーなど異なった種類の輸送手段の間での複合一貫輸送が可能で、輸送にともなう手間・コスト・時間を大幅に削減できる。しかし、鉱産物・農産物などのバラ積みや、原木など長大な貨物の輸送には適していない。よって、カが誤り。なお、ウの「ガントリークレーン(Gantry Crane)」は、港湾の岸壁に設置さ

れたコンテナなどの貨物の積み卸しを行うクレーンの呼称である。

問7. 今日、日本では全ての都道府県に高速道路が整備されているので、イは誤り。また、高速道路に一般自動車が出入りできる場所は、基本的にインターチェンジであるので、オも誤り。

#### 【4】

問1. Cは国内貨物輸送量が56,844億トンキロと突出して大きな値を示すうえ、パイプラインによる貨物輸送の地位が高いことから、大国のアメリカ合衆国が該当する。A・Bは、国内貨物輸送量がそれぞれ5,700億トンキロ、5,062億トンキロとほぼ等しい値を示しているので、残った4カ国（ドイツ、イギリス、日本、オランダ）の中で特に小国であるオランダではない。ドイツ、イギリス、日本の中で、パイプラインによる貨物輸送が不活発であることからAは日本、水運による貨物輸送が不活発なことからBはドイツと判断する。

問2. ①. 時間距離は、ある地点から他の地点へ移動するのに必要とされる時間を距離に見立てたもので、経路や利用する交通手段によって変化する。「最寄駅まで徒歩10分」という不動産広告は、時間距離を表すものの代表例である。

②・③・⑨. 航空機による貨物輸送は、第二次世界大戦後、航空機が大型化したこと、航空機輸送に適した生鮮物や半導体（IC）など小型・軽量で高付加価値な貨物の輸送需要が高揚したことなどを背景として活発化した。

④. 航空路線網を自転車などの車輪に例えると、車輪のスポーク部分が航空路線、中心のハブ部分が空港に当たることから、広域航空路線網の中心として機能する空港をハブ空港と呼ぶ。東アジアでは、成田空港が東アジアと北アメリカを結ぶ航空路線網のハブ空港として機能してきた。しかし、1998年に香港国際空港、2001年にソウル郊外に仁川国際空港が開港したことなどを背景として、近年急速にハブ空港としての地位が希薄化する傾向にある。

同様に、広域コンテナ船貨物輸送網の中心として機能する港湾をハブ港（ハブ港湾）と呼ぶ。コンテナ取扱量の多い香港、シンガポール、上海、シェンチエン深圳、カオションプサン、高雄、ロッテルダム、ロサンゼルス、ハブルク、ドバイなどは、ハブ港の代表例である。

⑤・⑥. 中継貿易は、他国から輸入した产品を、そのまま他国に再輸出したり、保税地域で加工したのちに他国へ再輸出する貿易形態を指す。シンガポールは、インドネシアなどから輸入した原油や石油製品などの中継貿易が盛んなことで知られている。

⑦・⑧. パナマ、リベリア、バハマなど船舶保有数の多い国は、その多くが税金を低く抑えたり、船員に関する国籍条件などの規制を緩和することで、船主の所在国とは異なる国に船籍を置く便宜置籍船を誘致する政策を採用している。

⑩. ④で述べたような状況を背景として、2008年には、成田（東京国際）空港の取扱航空貨物量（国際・国内）は、メンフィス（アメリカ合衆国）、香港、浦東（中国）、仁川（韓国）、アンカレッジ（アメリカ合衆国）、シャルルドゴール（フランス）、フランクフルト（ドイツ）に次いで世界第8位、アジアでは第4位となっている。

問3. 2009年のコンテナ取扱量上位港湾は、シンガポール、上海（中国）、香港、深圳（中国）、コワンチョウプサン（韓国）、コウザン広州（中国）、ドバイ（アラブ首長国連邦）、ニンポー寧波－チョウシャン舟山（中国）、チングオ青島（中国）、ロッテルダム（オランダ）、天津（中国）、高雄（台湾）となっている。上記の上位港湾

の中で、表中に名前の挙がっていない上位港湾なので、Dがシンガポール、Eがプサンとなる。

## 【5】

設問1. ア・イ・ウ. 航空路線網を自転車などの車輪に例えると、車輪のスポーク部分が航空路線、中心のハブ部分が空港に当たることから、広域航空路線網の中心として機能する空港をハブ空港と呼ぶ。東アジアでは、成田空港が東アジアと北アメリカを結ぶ航空路線網のハブ空港として機能してきた。しかし、1998年に香港国際空港、2001年にソウル郊外に仁川国際空港が開港したことなどを背景として、近年急速にハブ空港としての地位が希薄化する傾向にある。

エ. 石油や天然ガスなどを運ぶために設置された管路のことを、パイプラインと呼ぶ。カスピ海のアゼリ＝チラグ＝グネシユリ油田から地中海までを結ぶ、アゼルバイジャンの首都であるバクーを起点とし、ジョージア（2015年にグルジアから呼称変更）の首都であるトビリシを経由して、トルコの地中海沿岸南東部に位置する港湾都市のジェイハンへ至るバクー＝トビリシ＝ジェイハン（BTC）パイプラインは、ロシア南西部からウクライナ、東欧諸国、ドイツなどへ送油を行うドルジバ（ロシア語で「友好」を意味する）パイプラインに次ぐ、世界第2位の石油パイプラインとして知られている。

オ. コンピュータ通信網を連結して構築したものが、インターネットである。インターネットの普及が進んでいるものの、世界的に常時接続環境や高速回線が提供されているのは先進諸国の都市部が中心である。また、端末（パソコン）が決して安価とは言えないこともあって、都市部と非都市部、先進諸国と途上諸国との間などの情報格差（デジタル＝デバイド）が誘発されていることにも注意したい。

カ. GPS（= Global Positioning System、全地球測位システム）は、アメリカ合衆国によって運用される衛星測位システムである。近年は、カーナビゲーションシステムや携帯電話などにも搭載・利用されている。

設問2. a. 時間距離は、ある地点から他の地点へ移動するのに必要とされる時間を距離に見立てたもので、経路や利用する交通手段によって変化する。「東京と福岡の間の時間距離は、航空機を利用すると、新幹線を利用する場合の約1/3に短縮される」というように使われる。

b. 光通信は、光ファイバーを利用した有線通信のことである。従来、利用されてきた電線（銅線）による有線通信や電波による無線通信に比べて、高速・長距離の伝送が可能といった長所を有している。

c. 人工衛星の用途は、通信衛星、軍事衛星、地球観測衛星、気象衛星、科学衛星など、多岐にわたる。人類初の人工衛星は、1957年に旧ソ連が打ち上げたスプートニク（ロシア語で「衛星」を意味する）1号で、これを契機として冷戦期に米ソ2大国間での宇宙開発競争が誘発された。

d. 携帯電話端末で世界有数のシェアを有しているノキアは、北欧のフィンランドの電気通信機器メーカーである。また、世界最大の携帯電話地上固定設備のメーカーとして知られるエリクソンは、北欧のスウェーデンの通信機器メーカーである。

設問3. (1). コンピュータ・携帯電話などの情報通信技術の急激な発達とともに、1980年代以降誘発された社会・人間生活の劇的な変化を「情報革命」と呼ぶ。これを先導したのは、

マイクロソフト社、Google 社、アップル社など、アメリカ合衆国企業であった。

(2). デカン高原南部に位置するバンガロールは、インドのカルナータカ州の州都であると同時に、インドの IT 産業の一大集積拠点となっており、「インドのシリコンバレー」と呼ばれている。

(3). ミャンマーでは、国土の中央部に位置するピンマナ近郊のネピードー（ネピドー）に新首都が建設された。2006 年 10 月に、公式に旧首都ヤンゴンからの遷都が発表された。ネピードー（ネピドー）は、「王都」、「首都」を意味している。

## 13章 貿易・国家間の結びつき

### 問題

#### 解答

【1】 ③

【2】 ①

【3】 ③

【4】 ⑥

【5】 ③

【6】 問1 - D 問2 - E 問3 - D

【7】 問1 A - 代替 B - 指向 C - アジア NIEs D - ASEAN  
E - アジア通貨危機

問2 あ - 21 い - 19 う - 18 え - 14 お - 25

問3 a - 15 b - 11 c - 13 d - 21 e - 24

#### 解説

##### 【1】

正解は③。

アメリカ合衆国では、2010年現在、カナダが最大の貿易相手国であり、中国が第2位、メキシコが第3位の貿易相手国である。アメリカ合衆国はカナダ、メキシコの両国に対して貿易赤字であることからXがカナダ、Yがアメリカ合衆国、Zがメキシコである。

##### 【2】

正解は①。

Xはエクアドルやチリの沖合いが好漁場となっているため魚介類である。Yは、エクアドル、コロンビアの主な輸出品であることから、アンデス山脈付近などで産出される原油とわかる。  
Zはカナダの豊富な針葉樹林を原料とした木材である。

##### 【3】

正解は③。

オランダは国の規模は小さいものの、国民1人当たりのGNIは世界第9位（2008年）と高い経済水準を誇り、GNIに対するODA総額の比率が高い国として知られる。

〔ODA総額〕 ÷ 〔GNIに対するODA総額の比率〕から各国のGNIを概算することができ、  
①は約28,000億ドル、②は約52,000億ドル、③は約8,700億ドル、④は約22,200億ドルとなる。  
GNIが最大の②は日本に該当し、地理的に近い東・東南アジアおよびオセアニアへの供与額  
が大きい。GNIが同水準の①・④のうち、ODA総額が大きい①はフランスに該当し、残る④  
はイタリアである。

#### 【4】

正解は⑥。

NAFTA（北アメリカ自由貿易協定）はアメリカ合衆国・カナダ・メキシコの3カ国から成り、経済水準も高いことから、カが該当する。CIS（独立国家共同体）は、中央アジア諸国などの経済水準が低いものの、旧ソ連の構成国から成り国家間の格差が比較的小さいことから、キが該当する。ASEAN（東南アジア諸国連合）は、先進工業国のシンガポールや資源大国のブルネイ＝ダルサラームなどは経済水準が高いが、カンボジアやミャンマーは極端に低く、国家間の格差がとくに大きいことから、クが該当する。

#### 【5】

正解は③。

アジア NIEs・ASEAN4・中国のうち、最も早くから工業化が進んだのはアジア NIEs である。図1の中では最も早い時期の 1985～89 年に日本が最も多く対外直接投資を行っているチがアジア NIEs に該当する。1990 年代から急速な工業化が進んだのが ASEAN4 である。日本が 1990 年代に多くの投資を行ったタが ASEAN4 に該当する。年代とともに投資額が増加していくツが、近年の工業化が著しい中国に該当する。

#### 【6】

問1. 表の左上から右下に向かう対角線上に示された、域内貿易額に注目しよう。そうすると、①の域内貿易額が 951.2（百万 US ドル）、②の域内貿易額が 4,243.6（百万 US ドル）、③の域内貿易額が 1,889.8（百万 US ドル）となっている。ヨーロッパでは、EU の拡大と統合の進化によって域内での分業体制の構築が進展していることを背景として域内貿易が活発に行われていることから、域内貿易額が突出して大きな値を示す②がヨーロッパである。よって、①と③がアジア（オセアニアを含む）、北アメリカの何れかとなるが、北アメリカは中・南アメリカとの間に緊密な経済関係を構築している。この点に注目すれば、中・南アメリカを輸出元とする貿易額が 151.3（百万 US ドル）と大きな値を示す①を北アメリカ、80.2（百万 US ドル）と小さな値を示す③をアジアと判断できる。

問2. ①～③の3カ国の中で、輸入と輸出の何れにおいても日本とアジアの占める地位が最も高いことから、③を中国と判断する。また、逆に輸入と輸出の何れにおいても日本とアジアの占める地位が最も低いことから、①をブラジルと判断する。また、輸入と輸出の何れにおいてもその他の占める地位が最も高いことに注目して、②をカナダやメキシコをはじめとするラテンアメリカ諸国との間に緊密な経済関係を構築しているアメリカ合衆国と判断することもできる。

問3. D が誤り。先進諸国が高度な技術力を保有する一方で、途上諸国が低コスト生産を行うために必要とされる低賃金労働力を保有しているという状況を背景として、日本の自動車産業は、今日、発展途上諸国に設けた生産拠点を中心に、日本で生産された製品の主要部品を輸入して、現地で組立・販売するノックダウン生産方式を採用している。

## 【7】

問1. A. 発展途上国が、従来は輸入に依存していた产品を国内工業の振興によって国内生産に切り替えたり、そのために自国市場を保護する開発政策を、輸入代替型工業化と呼ぶ。

B. 輸入代替型工業化によって、高度な技術を必要とする工業業種を振興させることは困難である。このため、発展途上国は、輸入代替型工業化に次いで、先進諸国の企業を誘致して高度な技術を必要とする種々の产品を生産・輸出する輸出指向型工業化と呼ばれる政策を採用する。1980年代以降、アジア諸国で見られた経済の高成長は、この輸出指向型工業化が導入・採用されたことが一因となっている。

C. 韓国、台湾、香港、シンガポールを総称して、アジア NIEs (Newly Industrializing Economies = 新興工業経済地域) と呼ぶ。発展途上国のなかで、1970年代の石油危機以降も工業化による経済成長を達成した国・地域を総称して NIEs (新興工業経済地域) と呼ぶが、1979年のOECD (経済協力開発機構) のレポートでは、韓国、台湾、香港、シンガポール以外に、メキシコ、ブラジル、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、旧ユーゴスラビアの10カ国・地域を指していた。しかし、1980年代に入ってアジア NIEs 以外が低成長に転落し、さらに、1990年代に入るとアジア NIEs も賃金上昇によるコスト上昇やアジア金融危機などの影響で産業構造の変革を余儀なくされている。

D. ASEAN (Association of South-East Asian Nations = 東南アジア諸国連合) は、1967年にインドネシア、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピンの5カ国で設立された。1984年にブルネイ、1995年にベトナム、1997年にミャンマーとラオス、1999年にカンボジアが加盟し、現在加盟国は10カ国となっている。域内人口が約5.8億人(2008年)と多いうえ、近年目覚ましい経済成長を遂げているため、EU (ヨーロッパ連合)、NAFTA (北米自由貿易協定)、中国、インドとともに世界経済の一極を構成する存在となっている。

E. 1997年7月からタイを中心が始まったアジア各国の急激な通貨下落現象を、アジア通貨危機と呼ぶ。この現象は、アメリカ合衆国のヘッジファンドを中心とする機関投資家の行った通貨の空売りによって誘発された現象で、融資の焦げ付き、金融機関の経営破綻、国家財政の危機などをアジア各国のみならず、ロシアやブラジルなどでも誘発し、世界経済に大きな打撃をおよぼした。

問2. あ・い. 第二次世界大戦前の日本の工業は、繊維工業を核とする軽工業を中心であった。当時の日本の貿易は、綿花・羊毛などの繊維原料が輸入の中心、繊維製品が輸出の中心となる、典型的な加工貿易となっていた。

う・え. 第二次世界大戦後の高度経成長期の日本の工業は、鉄鋼業などの基礎素材型工業や、造船業・自動車工業などの加工組立型工業を核とする重工業を中心であった。当時の日本の貿易は、原油(石油)・鉄鉱石などの鉱産資源が輸入の中心、重工業製品が輸出の中心となる、典型的な加工貿易となっていた。

お. 原材料や半製品を輸入し、それを加工して生産した製品・半製品を輸出する貿易形態を、加工貿易と呼ぶ。

問3. a・b. 問題文中に、「日本の事務用機械輸出入のうち、コンピュータの輸出先は<a>が約40%を占め、輸入先は<b>が50%以上を占めている」、「近年は<b>への投資額、とりわけ、沿岸部への投資額が増しており、経済的関係が密接になってきたといえる」

とあることから、aはアメリカ合衆国、bは中国である。

c～e. 問題文中に「<c>や<d>は、天然資源に恵まれていないという点では日本と共に経済環境にあったといえる」、「<c>, <d>, <e>および香港は（C）と呼ばれるようになった」という記述があることから、c～eはアジアNIEsを構成する韓国、台湾、シンガポールの何れかである。このうち、「<c>は輸出入とも電子機器が主力で日本の集積回路の輸入先として最大である」とあるので、cは、近年、九州に代わる「新しいシリコンアーランド」としての性格を強めている台湾である。また、「<d>も、日本との間で機械類を中心とした貿易を行っており、環日本海経済構想に含まれる国である」とあるので、dは韓国である。





G2J  
高2東大地理



会員番号		氏名	
------	--	----	--